

地元の味！ くらしを大切にする店



生婦の店

赤穂民報

発行所

赤穂民報社

赤穂市加里屋駅前町58-18

TEL 43-1886

FAX 46-2626

編集人 広島秀紀

設計、住宅、お店、不動産

木の家おきに入りのくらし

アーバンハウス株式会社



1枚500円、子ども無料

ちいちゃんのマスク

新型コロナウイルスが感染拡大している影響でマスク不足に困っている人に役立てば、赤穂市内の女性がサイズオーダーできる手作り布マスクの内職を始めた。使う人の顔にフィットするようにタックや折り返しの位置で繰り返し使用可。大人は1枚500円で販売し、小学生以下の子どもも今は無料で進呈するという。

尾崎の羽馬千鶴さん(60)は加里屋でスナック「ちいちゃん」を営むママ。店内のこまめな消毒と換気はもちろ

りは使い捨てタイプの手洗いもペーパータオルに切り替え

た。従業員は手指消毒を徹底し、客もグラスを用いていた。先月、手芸店でマスク着用。カラオケ

歌うようにお願ひするなど、できる限りの感染予防に努めながら店地でごみ紐を購入してミシンで縫つてみた。

お客様にプレゼントをお客さんには、マスクを着けたまま歌うようにお願ひするなど、できる限りの感

染予防に努めながら店を開いていた。先月、手芸店でマスク着用。カラオケ

には顔が大きくてサイズが合わないことも。注文は左右の耳の長さを測って伝え

た。県の休業要請を採寸してその場でマスクを縫い上げるようにして、店内の一角にミシンを置き、顔幅を

そで、店舗の間は店を休むことにしてたが、中

で小学生以下の子どもは、子育て世帯への配

元々は「お店を休むことには困る」といって、注文は左右の耳の長さを測って伝えればOK。2~3日後には渡せるという。

間の長さを測って伝えればOK。(写真はサイズオーダーできるマスクの手作り販売を始め



中川眼科クリニック

赤穂駅 プラット赤穂1F

☎ 56-9127

www.nakagawaganka.com



社説

それぞれの立場で
いまできることを

新型コロナウイルス

の感染拡大が未だ衰え
ない東京都では、感染
疑いの救急患者を受け
入れる医療機関がなか
なか見つからず、たら
い回しにされる事態が
起きていて。また、各
地で院内感染の発生
もある。

新型コロナウイルス
を重症化する「拠点病院」
を重症化する「特定病院」
にそれ

を重症化する「拠点病院」
を重症化する「特定病院」
にそれ

を受け皿となる。重症者
が要請し、4月末まで

医療機関等に病床確保
を受け皿となる。重症者
が受け皿となる。重症者
が要請し、4月末まで

は特定病院へ搬送し、
入院後の無症状者や軽
症者は県が用意したホ
テル・宿泊施設へ収容
して、死者を出したイタ
リアを見ると、患者が
集中した一部の医療機
関で感染防護やゾーニ
ング(非清潔区域)と清
潔区域の分類)が甘く
見えてくる。一方、集
団感染が広がったグル
ーピング船での船内活動
に起きたとの課題が
見えてくる。医療機関
は、自衛隊は▽消毒▽
を整備し、入院後の無
症状者や軽症者の療養
を行なうとしている。

県の発表資料などに
看護師などの医療体制
を確保。すでに確保済
みの病床250床と合
わせてトータルで50
0床を確保するとい
う。また、ホテルや宿
泊施設を合計500室
を確保するとい

う。また、ホーリー宿
泊施設を合計500室
を確保するとい</

